

平成29年度第12回宮城大学教育研究審議会 議事録（平成30年3月定例）

開催日時	平成30年3月20日（火） 14:30～16:40
開催場所	大和キャンパス本部棟3階 大会議室 太白キャンパス管理棟2階 大会議室
出席者	<p>【大和キャンパス 大会議室】</p> <p>川上学長，犬飼副理事長（総務企画担当），徳永理事（教育・国際担当）兼副学長（教育・国際担当）兼教育推進機構長，高橋理事（人事労務担当），西城理事（財務担当），武田理事（総括・戦略企画・地域貢献担当）兼副学長（総括・戦略企画・地域貢献担当），金子副学長（大学改革担当）兼基盤教育群長兼教育推進機構カリキュラムセンター長，吉田看護学群長兼研究科長，風見事業構想学群長兼研究科長，平岡事業構想学群副学群長，桑名看護学研究科副研究科長，藤原事業構想学研究科副研究科長，川村基盤教育群副群長，真覚教育推進機構スチューデントサービスセンター長，井上（誠）教育推進機構アドミッションセンター長，茅原総合情報センター長，竹内地域連携センター長，田邊キャリア開発センター長，河西健康支援センター長，小林事務部長</p> <p>【太白キャンパス 大会議室】</p> <p>岩堀理事（研究・産学連携担当）兼副学長（研究・産学連携担当），西川食産業学群長兼研究科長，井上（達）食産業学群副学群長，三石食産業学研究科副研究科長</p> <p style="text-align: right;">《教育研究審議会構成員26名中24名出席》</p>
欠席者	塩野看護学群副学群長，フェラン国際交流・留学生センター長
事務局	<p>【大和キャンパス 大会議室】</p> <p>小松課長，加茂課長，遠藤管理部長，佐藤（憲）GL，本間GL，武田GL，齋藤成樹GL</p> <p>【太白キャンパス 大会議室】</p> <p>庄司太白事務室長，佐藤（尚）GL</p>
議事等の概要	<p>1 議事録について</p> <p>（1）前回（H30.2.21）議事録の確認について</p> <p>議事録原案に対する意見を求めたところ，異議がなく，原案のとおりとすることが確認された。</p> <p>（2）平成29年度第12回宮城大学教育研究審議会議事録署名人について</p> <p>今教育研究審議会の議事録署名人として，平岡事業構想学群副学群長を指名した。</p> <p>2 審議事項</p> <p>（1）キャリア・インターンシップセンター設置に係る運営方針及び運営体制（案）について（議案1）</p> <p>田邊キャリア開発センター長から，キャリア・インターンシップセンター設置に係る運営方針及び運営体制（案）の説明があり，質疑応答を経たのち異議なく承認された。</p> <p>なお，質疑応答の内容は次のとおり。</p> <p>Q：地域企業等連携担当、企業情報担当について明確に説明されていない。そ</p>

れぞれインターンシップ開発室、キャリア開発室と深く連携すべき関係だと思われるが独立した組織なのか？

A：地域企業等連携担当、企業情報担当は、それぞれインターンシップ開発室、キャリア開発室の中で運営してもらうことを想定している。

Q：各担当における責任者のイメージはあるか？

A：地域企業等連携担当の責任者は地域連携センター副センター長、企業情報担当の責任者は運営委員会の構成員である企業情報担当者を想定している。

Q：キャリア・インターンシップセンターは全学の中でどのような位置づけになるのか？

A：センター群のひとつとして、大学の出口にあたる位置づけである。

Q：キャリア・インターンシップセンターとカリキュラム・センターの関係は？

A：カリキュラム・センターの役割は、キャリア科目、インターンシップ科目のシラバスとの整合性チェックである。

Q：インターンシップは、従来の食産業学群の取組と同じであると考えてよいか？

A：従来の食産業学群が行っていることに事業構想学群が合わせると考えてよい。

Q：キャリア・インターンシップセンター事務の担当は？

A：企画・広報グループが担う。ただし、科目の運営は教務第2グループが担う。

(2) 国際交流・留学生センター運営体制（案）について（議案2）

井上（達）食産業学群副学群長（国際交流・留学生センター副センター長）から、国際交流・留学生センター運営体制（案）について説明があり、異議なく承認された。

(3) 学生健康支援基本方針及び健康支援室運営方針（案）について（議案3）

河西健康支援センター長から、学生健康支援基本方針及び健康支援室運営方針（案）について説明があり、質疑応答を経たのち異議なく承認された。

なお、質疑応答の内容は次のとおり。

Q：健康支援WGはSSCのWGのほかにつくることになるのか？かえって情報の共有が阻害されることにならないか？

A：健康支援WGは教務、キャリアなど様々な立場の教員で構成することによって情報交換が活発になることを想定しているが、目的が達成されれば、SSCと健康支援室の両方で1つのWGでもよいと考える。

Q：副室長の業務内容・役割は？現場の業務も担うように見えるが？

A：副室長の役割は教員と現場との繋ぎ役である。また、現場の業務は保健指導員、カウンセラーが行うものであり、副室長は現場の管理・統括を担う。

(4) インターネット出願について（議案4）

井上アドミッションセンター長から、本学の全ての学群入試を対象にインター

ネット出願を導入することについて提案があり、異議なく承認された。

(5) 一般選抜 大宮会場について (議案 5)

井上アドミッションセンター長から、一般選抜入試 (前期日程) における学外試験場 (大宮会場) における試験実施を継続することについて提案があり、異議なく承認された。

(6) 平成 30 年度 年度計画について (議案 6)

犬飼副理事長から、平成 30 年度 年度計画の説明があり、細部に修正が見込まれることを含めて、全体的に承認された。

3 報告事項

(1) 各種報告

①学群長選考の結果について (報告資料 1)

川上学長から、研究科長を兼務する学群長選考の結果が報告された。

②平成 30 年度入学者選抜試験の実施状況について (報告資料 2)

井上アドミッションセンター長から、平成 30 年度入学者選抜試験の実施状況が報告された。

③平成 30 年度学年暦について (変更事項報告) (報告資料 3)

真覚スチューデントサービスセンター長から、平成 30 年度学年暦について、第 10 回教育研究審議会 (平成 30 年 1 月定例) 以降に変更のあった事項が報告された。

④地域連携センター運営方針について (報告資料 4)

竹内地域連携センター長から、地域連携センター運営方針が報告された。

⑤平成 29 年度卒業生の就職内定状況について (報告資料 5)

田邊キャリア開発センター長から、平成 29 年度卒業生の就職内定状況、3 年生の就活状況が報告された。

⑥保健室・学生相談室利用状況について (報告資料 6)

河西健康支援センター長から、2 月の学生相談室及び保健室の利用状況、新年度に向けた学生対応における懸念事項等が報告された。

(2) 教授会審議状況報告

①看護学群 (学部) (報告資料 7-1, 7-2, 7-3)

吉田学群長から、2 月 26 日に第 7 回教授会を開催し後期成績判定 (4 年生) 及び卒業判定について審議したこと等、3 月 2 日に第 8 回教授会を開催し養護教諭教育課程変更申請の書類について審議したこと等、同日第 9 回教授会を開催し看護学研究科長を兼務する看護学群長候補者の選出について審議したこ

と、3月14日に第10回教授会を開催し後期成績判定及び進級判定について審議したこと等が報告された。

②看護学研究科（報告資料8）

吉田研究科長から、3月14日に第12回教授会を開催し平成29年度後期成績判定について審議したこと等が報告された。

③事業構想学群（学部）（報告資料9-1, 9-2,）

風見学群長から、2月28日に第8回教授会を開催し平成29年度後期成績判定及び卒業判定について審議したこと等、3月14日に第9回教授会を開催し平成29年度後期成績判定および進級判定について審議したこと等が報告された。

④事業構想学研究科（報告資料10-1, 10-2）

風見研究科長から、2月28日に第10回教授会を開催し博士論文審査結果及び最終試験結果について審議したこと等、3月14日に第11回教授会を開催し平成29年度後期成績判定について審議したこと等が報告された。

⑤食産業学群（学部）（報告資料11-1, 11-2）

西川学群長から、2月28日に第7回教授会を開催し平成29年度4年生の後期成績について審議したこと等、3月14日に第8回教授会を開催し平成29年度2年生及び3年生の後期成績について審議したこと等が報告された。

⑥食産業学研究科（報告資料12-1, 12-2）

西川研究科長から、2月28日に第5回教授会を開催し平成29年度学位（修士）論文審査結果及び最終試験結果について審議したこと等、3月14日に第6回教授会を開催し平成29年度博士前期課程学生の後期成績について審議したこと等が報告された。

⑦基盤教育群（報告資料13-1, 13-2）

金子基盤教育群長から、2月21日に第2回拡大教授会を開催し平成29年度後期成績について審議したこと等、同日に第3回通常教授会を開催し平成30年度の特任教員・客員教員について審議したこと等が報告された。

(3) 学内委員会等報告

①評価委員会（報告資料14）

犬飼副理事長から、3月20日に第8回委員会を開催し、平成30年度公立大学法人宮城大学年度計画について審議したことが報告された。

②研究委員会（報告資料15）

岩堀理事から、2月28日に第11回委員会を開催し、共同研究の受入れについて審議したこと等が報告された。

③総合情報センター運営委員会（情報システム部門）（報告資料 16-1, 16-2）

総合情報センター運営委員会（学術情報部門）（報告資料 17）

茅原センター長から、2月28日に第11回委員会（情報システム部門）、3月20日に第12回委員会（同）、3月15日に第10回委員会（学術情報部門）を開催し、各々において必要な審議をしたこと等が報告された。

④国際交流・留学生センター運営委員会（報告資料 18-1, 18-2）

井上（達）食産業学群副学群長（国際交流・留学生センター副センター長）から、2月21日に第11回委員会、3月14日に第12回委員会を開催し、各々において必要な審議をしたこと等が報告された。

⑤地域連携センター運営委員会（報告資料 19）

竹内地域連携センター長から、3月5日に第8回委員会を開催し、地域連携センター関連規程の改定等について審議したこと等が報告された。

4 その他

（1）西川食産業学群長兼研究科長から、今後各センター組織に学群長が構成員として入るべきかとの質問があり、川上学長から構成員として予定されている旨の回答があった。

（2）西川食産業学群長兼研究科長から、会議の増加に対応するために遠隔会議システムの複数導入が要望され、川上学長からすべての会議を遠隔会議システムで行うこととする旨の回答があった。

この議事録は、平成29年度第12回宮城大学教育研究審議会議事録である。

平成30年4月18日

公立大学法人宮城大学教育研究審議会 議長 川上伸昭 印

同 議事録署名人 平岡善浩 印